

「再犯防止×地方創生」トピックス 令和7年度矯正施設所在自治体会議 総会の開催について

本年6月4日、ホテルニューオータニ東京（東京都千代田区紀尾井町）において、令和7年度矯正施設所在自治体会議総会を開催しました。今年度の総会では、45の自治体から首長等が出席し、また、来賓として鈴木馨祐法務大臣、高村正大法務副大臣にそれぞれ御臨席いただきました。

開会挨拶では、会長である高野律雄府中市長から、関係機関や関係自治体の皆様と顔の見える関係をつくり、情報共有を行いながら、「再犯防止にも地方創生にも資する取組」を今後とも進めていきたい旨、述べられるとともに、鈴木法務大臣からも、矯正施設所在自治体と矯正施設をはじめとする刑事司法関係機関等との更なる連携強化の必要性について御挨拶をいただきました。

議事では、令和6年度決算案、令和7年度予算案、新役員及び今後の活動方針（地方創生研究会の開催、地域による包摂の更なる推進、積極的広報の実施）案について決議されました。選任された新役員は別表のとおりとなっています。

本総会の終わりには、高村法務副大臣から、今後も国と地方が手を携えながら、安心・安全で包摂的な地域社会の実

現に向けて共に歩んでいきたい旨の御挨拶をいただき、本総会は閉会いたしました。

本年4月時点の本会議への加入数は、矯正施設が所在する112自治体のうち、103自治体となっています。本総会により決議された活動方針を踏まえながら、今後も、再犯防止にも地方創生にも資する取組を推進していきたいと思いますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

会 長	東京都府中市長 高野 律雄(再任・4期目)
副会長(地域部会長)	
北 海 道	北海道網走市長 水谷 洋一(再任・4期目)
東 北	秋田県秋田市長 沼谷 純(新任)
関東甲信越	東京都昭島市長 白井 伸介(再任・4期目)
中 部	石川県金沢市長 村山 卓(再任・4期目)
近 畿	京都府京都市長 松井 孝治(新任)
中国・四国	香川県善通寺市長 辻村 修(新任)
九 州	佐賀県鳥栖市長 向門 慶人(新任)
監 事	栃木県さくら市長 中村 卓資(再任・4期目)
監 事	大阪府交野市長 山本 景(再任・2期目)
事務局	山口県美祢市



高野府中市長(会長)の挨拶



法務大臣・副大臣を囲んでの記念撮影



総会の様子



鈴木法務大臣の挨拶



高村法務副大臣の挨拶

（事務局から）

前日の雨模様が一变、晴天に恵まれ、本年度の総会も、おかげさまで盛会に終えることができました。年々、参加される首長も多くなり、これまで以上に矯正施設と矯正施設所在自治体が結束して、安全で安心な活力ある地域づくりを積極的に進められるよう、様々な活動を展開できればと思います。

毎年度、計4回発刊している本機関誌ですが、皆様方

の協力の下、Vol.10を迎えることができました。今後も、機関誌を通して、広報による啓発活動に努めていきたいと思います。

なお、機関誌のアーカイブについて法務省矯正局のHPに掲載いただいております。右記のQRコードから参照いただけますので、ぜひご利用ください。



Revitalization そうせい × きょうせい Correction

Vol.10
2025 Summer

- 東京都府中市の紹介 ～府中刑務所との連携～
- 府中刑務所の地域と連携した取組について
- 「再犯防止×地方創生」トピックス
- 令和7年度矯正施設所在自治体会議総会の開催について

東京都府中市の紹介 ～府中刑務所との連携～

府中市は、ふるさと納税の返礼品として府中刑務所の様々な刑務所作業製品を提供しています。市内に拠点を置くラグビーチームとのコラボトートバッグ、馬蹄型小銭入れ、さらに最近では人気漫画「刃牙シリーズ」とのコラボTシャツなどがあります。

令和6年度には、刑務所作業製品を返礼品とし、無償の刑務所施設参観を加えた体験型ふるさと納税返礼品「府中刑務所見学会」を2回実施しました。各回とも、申し込み多数となり、締め切り後も問合せが続く状況でした(1組あたり2名とし、第1回は20組、第2回は15組の募集)。

この取組の狙いは、参加者が刑務所内を見学し、受刑者の生活の様子を知っていただくだけでなく、府中刑務所が実施している社会復帰に向けた支援など、様々な取組について知ってもらい、出所者を地域社会で受け入れていくことへの理解促進を図ることです。

見学会では、府中刑務所の概況説明、施設参観、刑務所職員や保護司による講演、府中市長からのメッセージ動画の放映、返礼品である刑務所作業製品のお渡し、終了後には刑務所作業製品展示販売所(CAPICショップ)への案内が行われました。施設参観では、受刑者の居室のほか、社会復帰を見据えた職業訓練工場(受刑者が出所後の就労に備えて、職業に関する知識や技能を習得するための工場)や機能向上作業(認知機能や身体機能の低下した受刑者のための作業)を取り入れた工場などを中心に回りました。

多くの参加者が普段入ることができない刑務所に「興味」を持って、ふるさと納税の申し込みをされ、施設の見学や職員の講演を通じて刑務所の取組を知り、「再犯防止」や「出所者の地域での受け入れ」について考えるきっかけとなったという感想を多く頂戴しました。

参加者アンケートでは、「罪を償うだけではなく社会復帰を見据えた様々な取組に驚いた。」「塀の中の世界と私たちの地域がつながっていることを感じた。」という感想がありました。

刑務所見学会の取組について、「市に所在する府中刑務所という資源を活用させていただき、府中市をPRするとともに、府中の地に足を運んでいただくメニューとなった。」(府中市ふるさと納税担当)、「刑務所作業製品を知ってもらい、参観や刑務所職員の講演を通して「再犯防止」や「出所者の地域での受け入れ」について考えていただくきっかけとなった。」(府中市再犯防止担当)、「社会復帰に向けた様々な取組について少しでも多くの方に知っていただき、府中刑務所をはじめとする矯正行政についての理解を深めていただく機会となった。」(府中刑務所)との感想をそれぞれ述べられ、3者にとって有益となる取組になりました。

実施にあたり、様々な課題がありましたが、多くの関係者の皆様のご協力のおかげで実現することができました。心から感謝申し上げます。



人気漫画「刃牙シリーズ」とのコラボTシャツ



令和6年度府中刑務所文化祭で挨拶する高野府中市長と板垣恵介氏

府中刑務所の地域と連携した取組について

府中刑務所では、府中市と連携した様々な取組をしています。

府中市は、ラグビーチーム「東芝ブレイブルーパス東京」と「東京サントリーサンゴリアス」の拠点となっており、ラグビーのまちということで、様々なイベントが企画されています。府中刑務所でも府中市と連携できることがないか提案したところ、両チームカラーが一緒となったコラボバッグを製品化することとなり、そのバッグをふるさと納税の返礼品としたり、府中市が主催するイベント等に出品するなどし、非常に好評を得ております。

また、サッカーチームFC東京ともコラボしています。FC東京が主催する、地域社会との連携を深め様々な社会課題の解決を目指す「ジェネレーター会議」に刑務官や作業専門官が参加し、製品等について話し合いました。サポーターの意見をもとに、FC東京のカラーリング(青と赤)のごみ拾いトングを開発し、実際にごみ拾い活動で使用していただきました。そのことを受刑者にフィードバックすることによって、刑務所と地域のつながりはもとより、受刑者が製作した製品が、実際に社会に役立っているということを伝えることができた実感しました。それから、府中市が企画する府中市民デーに合わせて、約4万人の観客がいる中、ハーフタイムに所長以下の職員約40名が味の素スタジアムのピッチでバナーウォークをし、再犯防止に係るメッセージを発信したところ、観客の方から「刑務官ありがとう。」「頑張る。」などと温かいお言葉をいただき、職員は非常に感激し、やる気につながったということもありました。

そのほか、人気漫画「刃牙シリーズ」の作者である、府中市在住で武蔵国府中大使に任命されている板垣恵介氏とコラボし、主人公の範馬刃牙と範馬勇次郎をモデルにした

オリジナルデザインのTシャツを制作し、ふるさと納税の返礼品になりました。

さらに、府中市役所及びまちづくり府中と協働で、刑務所作業製品をふるさと納税の返礼品とした上、納税者のうち希望する方に対して「府中刑務所見学会」を実施しており、昨年度は2回実施し、今年度は7月24日に実施します。本見学会は、再犯防止推進に対する国民の理解を促進することを目的とし、施設内の見学のほかに、実際に再犯防止に携わる職員による業務説明を実施するなどしたところ、昨年度、見学会に参加された方々からは、「再犯防止のために、受刑者の話を聞く、心を開かせるということが大事だと思いました。」などの感想が寄せられ、この機会を通じて、日々受刑者と向き合い、再犯防止等に取り組む現場職員についても、社会とのつながりの中で自身の仕事の意義を再認識し、さらに、受刑者の社会復帰支援のすそ野の広がりを実感して、業務への動機付けが高まっているように思います。

最後に、この場をお借りして、御協力いただいている府中市及び関係者の皆様に心より御礼を申し上げます。



ラグビーチームとのコラボトートバッグ



「府中刑務所見学会」での参加者の様子



味の素スタジアムでのバナーウォーク



高野府中市長からのメッセージ動画